



第228号

令和3年3月10日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112

春です！ 青空の下 たまには外に出なくては！ 於 特別養護老人ホーム麗楽荘

目次

展望 令和3年度法人事業計画……………2	社会福祉法人一誠福祉会理事長 滝川 一 亮
評論 巨大ビルの売却……………3	社会福祉法人一誠福祉会後援会豊橋 監事 倉橋 健二
最新ニュース 令和3年度介護報酬改定4/5	特別養護老人ホーム作業員 藤原 運也
コロナ禍……………6	コロナ禍での地域包括支援センターの活動
地域包括支援センター作業員 社会福祉士主任 白井 寛	コロナに負けるな
麗楽荘居宅介護支援事業所主任 夏目 香里	楽しい理科教室医員編……………8
理科の勉強から医薬品を眺めてみる	老人保健施設ベルヴューハイッツ 薬剤師 谷山 正好
職員紹介 新入職員インタビュー……………9	特技披露 コロナ禍で見つけた楽しみ……………10
特別養護老人ホームス楽荘介護士 菅原亜莉沙	
施設だより……………11	
*作楽荘	関わりを大切に 看護師 竹本 恵
コロナ禍での生活 入所者 深谷 祐次	
*美光ハイム	健康についての講演会事務局 佐々木温美
*倶楽荘	1月誕生日会 介護士 宮本あかり
*GHくらら	園芸クラブ 介護士主任 湯浅 順一
*ス楽荘	楽しみみつけ！相談員副主任 榊原 隆誌
*ベルヴューハイツ	愛しの「たちやん」 介護士 藤城 那保
いつでも前向きに 利用者 彦坂 彰男	
*DSC吉かわ	お風呂の楽しみ 介護士主任 滝川 一善
*麗楽荘	ステイホーム 介護士 原田千代子
*デイサービス麗楽荘	鬼面つくり 介護士 峯野 愛香
*和光ハイム	マカスカカルとドラえもん入居者 大木 勇夫
*GHくらら	クリスマスの思い出 介護士 滝川 和良
*奇楽荘	コロナ禍の初詣 介護士副主任 小林 真紀
*GHくらら	防災意識を高く持つこと 介護士 横井 佑二
施設日誌【職員募集中】／編集後記18	20

展 望

令和3年度 法人事業計画

社会福祉法人一誠福祉会 理事長 滝 川 一 亮

依然として新型コロナウイルス

介護現場において、人員

ウィルス感染症が猛威を

配置基準の緩和は朗報に

振るっております。介護

聞こえますが、緩和に伴

業界においても事業者の

う介護報酬の引き下げを

業績は悪化しており、昨

意味しており、職員の配

年の介護事業者の倒産件

置転換が適切に行われな

数は過去最多となる見込

かった場合には、却って

みです。そんな情勢の中

質の低下や経営悪化につ

で、今年は2021年度

ながる危険性も内包して

介護報酬改定を迎えます。

います。したがって今後

今改定では、全体とし

は適切な人員配置と職員

での介護報酬は若干のプ

の資質向上がより一層重

ラス改定になりました。

要になってくると考えま

また、既存の加算などの

す。

意義や算定要件が詳細に

理事長就任以来、良い

見直され、人員配置基準

介護サービスを提供する

の緩和や業務対象が拡大

ためには良好な労働環境

されました。慢性的な人

の整備が不可欠との考え

員不足に悩み続けてきた

を基に、職員がどの部署

に勤務していても労働の
質と量、能力評価、報酬

の面で不公平が生じない

環境作りを目標に取り組

んでまいりました。まず、

法人独自の配置基準を設

定して職員の偏在を無く

す様にしました。そして、

職員の能力を的確に評価

し、資質向上を図るため

のキャリアパス制度を導

入し、評価と報酬の面で

公正な評価ができる体制

作りをしました。慢性的

な人材不足が続く難しい

状況下ですが、目標に向

かって引き続き邁進して

まいります。

令和3年度の事業計画

については、令和2年度

の事業計画である当法人

の理念、『ノーマライゼ

ーション』を礎として、

1 中・長期事業計画の
実行

2 介護人材の育成・確
保定着への取組

3 感染症及び災害への
対応力強化

を3本柱として中心に据

え、コロナを初めとする

感染症の法人内発生・蔓

延予防、災害対応体制の

整備、そして職員の質の

向上を図り、さらにはI

CTの活用にも注力して

いく所存です。

令和3年度も利用者

様、ご家族の皆様にご満足

して頂けるサービスを提

供すべく務めてまいりま

す。どうかよろしくお願

い申し上げます。



評論

巨大ビルの売却

社会福祉法人一誠福祉会後援会豊橋監事 倉 橋 健 二

先日新聞に、電通（大手広告代理店）が、東京・汐留にある四八階建のビルの売却を検討していると言う記事が目に残った。売却の理由は、コロナ禍による在宅勤務の増加であり、本来ならグループの九千人超が働くはずが、一月には出社する社員が毎日千二百から千四百人と一五％程度にとどまり、コロナ禍で働き方改革が進む中、本社ビルの売却が検討材料に挙げたと言う。売却額は国内過去最大級の三千億円規模とみられ、電通は売却後もオフィスを賃貸

して入るという内容であった。この件について考えてみると、第一の原因は、業績の悪化であろうと思われる。今日の広告ビ局が数社しかない時代ではなく、BSテレビ、スカパーテレビ、地方の都市のテレビ等数が多いあるようになり広告もインターネット等に変化していつて大幅な収入減となっているはずであろう。三千億で売却とあったが、建築費は四千億円を超えていると言われている。二〇年もたたずに、約一千億円が消えた事になる。

一年で約五〇億円ずつ消えていった計算になり、経営陣の先の見通しの甘さと言えると思うにつけてトップの決断がいかに重要かと考えさせられる出来事である。

電通だけでなく、東京の超有名ビル所有の主要企業の数社が本社を売却している。この事は、社会の構造の変化、すなわち、都心に立派な自社ビルを持つのが会社のステータスだった時代に終わりを告げていると言えるのではなからうか。

多くの企業がリモートワークを進める今日では、わざわざ自社ビルをどんなに広げる必然性はなくなり、コロナのおかげでリモートでも仕事がこな

せる事を理解した多くの企業は何も自社ビルを建てて苦しむ必要はない事にやっと気づいたことだと思われる。この様に考えて来ると新型ウイルスの攻撃で企業自体が必然的に変化をせざる得なくなり、このウイルス禍がおさまった時、企業だけでなく多くの社会の変化が見られる事であろう。

「早くウイルスが雲散霧消（ちりぢりにきえること）し変化した新しい社会にならん事を願ってやみません。」

（令和 3 年 2 月 11 日

東愛知新聞掲載）



最新ニュース

令和 3 年度 介護報酬改定

特別養護老人ホーム作業楽荘 副荘長 藤 原 運 也

令和 3 年度介護報酬改定における介護給付費分科会の意見の取りまとめが行われ、その審議が終了し、改定率が+0.7%と2期連続でのプラス改定となりました。そのうち0.05%はコロナ禍対策として令和 3 年 9 月までの限定措置であるため、実質は0.65%のプラス改定となります。

今回の改定の+0.7%は、全て基本報酬に充当され全てのサービスにおいてアップしました。しかし中には加算が廃止され基本報酬に組み込まれているものや、現在取得している加算の算定要件が変

更となり、今まで通りの体制では減算してしまうものもあります。そういった事業所においては、全体を見て基本報酬額アップが相殺されていないか精査をおこないつつ、対応を検討していかなければなりません。

改定の方向性として5つの柱が示され、全サービス対象の改定事項として、感染症及び災害への対策やICTの活用、ハラスメント強化等が盛り込まれ、押印の見直しや電磁的記録保存による文書負担軽減等も推進されるようになりました。

全サービス共通改定事項

【感染症対策、災害への対応力強化】

現行の委員会の開催、指針の整備（災害はBCPの策定）、研修の実施等に加え、訓練（シミュレーション）の実施が義務づけられた（3年間の経過措置期間）。

【高齢者虐待防止の推進】

利用者の人権擁護、虐待防止の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めることが義務付けられた（3年間の経過措置期間）。

【署名・押印の見直し、電磁的記録による保存】

利用者等への説明・同意について、電磁的な対応が原則認められた。署名・押印について、求め

ない事が可能であること及びその場の代替え手段を明示するとともに、様式例から押印欄を削除することができる。諸記録の保存・交付等についても電磁的な対応が原則認められた。

【事故防止（リスクマネジメント）の強化】

現行の指針の整備、委員会の開催、研修の定期的な実施に加え、これらの措置を適切に実施するための安全対策担当者を設置する（6ヶ月の経過措置期間、措置が講じられない場合は、未実施減算15単位/日あり）。

【無資格職員への認知症介護基礎研修受講の義務づけ】

介護に直接携わる職員のうち、医療・福祉関係

の資格を有さない者について、認知症介護基礎研修を受講させるために必要な措置を講じることを義務付けられた（3年間の経過措置期間あり、新入職員の受講には1年の猶予期間あり）。

基本報酬・加算改定事項
 【コロナ感染症に対応するための特例的な評価】
 令和3年9月末までの間であるが、全てのサービスについて基本報酬が0.1%上乗せされる。

【LIFE（CHASE・VISIT）の活用】

介護療養型医療施設を除く施設系、通所系、多機能系、居住系について、事業所のすべての利用者に係るデータをCHASEに提出してフィードバックを受け、事業所単位で

のPDCAサイクル・ケアの質の向上の取組を推進することを評価する（科学的介護推進体制加算算定）。

【サービス提供体制強化加算の見直し】

新たな最上位区分が創設された。要件として①従来の介護福祉士割合に10%上乗せ、②勤続年数10年以上の介護福祉士割合となっていることから、サービスの質の向上や職員の専門性・キャリアアップを一層推進するものとみられる。

【施設系栄養ケアマネジメントの見直し】

栄養マネジメントの取組を一層強化する観点より、現行の栄養ケアマネジメント加算は基本報酬に組み込まれ廃止となり、

それに代わり栄養マネジメント強化加算が創設された。算定にはLIFEの活用は勿論であるが、管理栄養士の加配等が必要となってくる。従来の栄養マネジメント加算が基本報酬に組み込まれたことよって、栄養マネジメントに取り組んでいない事業所は未実施減算が適用される（3年間の経過措置期間あり、未実施減算は14単位/日）

【基準費用額（食費）の見直し】

介護保険施設の食費の平均的な費用の額との差の状況を踏まえ、利用者負担への影響も勘案しつつ必要な対応を行うとされ、現行1,392円/日から1,445円/日へ見直された。

今回の介護報酬改定では介護サービスの提供体制の基盤強化が必要となります。主だったものしか記載できていませんが、多くの介護について改正・見直しが実施されています。ですがどれも大きく改正や見直しが行われたわけではありません。今まで行ってきたことをブラッシュアップし、一つひとつのケアの質を高める、職員の専門性を高めていく必要があると思います。話は早いですが次の報酬改定は、医療・介護の同時改定となります。その同時改定の要素が盛り込まれている今回の改定に真摯に取り組み、3年後の基盤構築のためにも準備して行く必要があると思われます。

コロナ禍

コロナ禍での

地域包括支援センターの活動

地域包括支援センター作楽荘社会福祉士主任 白 井 寛

新型コロナウイルス感染症防止を行ないながら包括業務を行ない早一年になります。初めて緊急事態宣言が発出された去年四月から五月末までは包括業務の委託元である豊橋市役所からも業務の中止、訪問業務を控えるように指示が出ました。しかし、今回の緊急事態宣言が発出された中では、感染対策を講じたうえで包括業務を全面的に実施するように指示が出ております。

業務としましては、担当利用者さんへの定期的なモニタリングについては電話で現状確認させて

いただくように切り替えております。介護申請についても、電話で受け付けをするようにしています。窓口での相談では、検温、発熱、咳症状などを確認させていただき、センター内の窓を開けて十分換気を行ない対応させていただいております。どうしても電話や窓口対応が難しい場合は、自宅訪問することもあります。その際は、マスク、グローブ、ガウン、フェイスシールドを着用して訪問しております。ご本人様、ご家族様は大変ビックリされますが、こちらが感染媒体になつては申し訳

ありませんので、お互いの感染予防ということでご理解いただくようにしております。コロナ禍においても、日常生活の支援を必要とする方は大勢おります。その方々への支援をつなげるためにできる範囲で対応をしています。

また、コロナ禍において老人クラブさん等への健康講座も中々行なうことができません。そこで地域への啓発として「包括だより」を作成し、自治会長さんをお願いをして回覧で回していただいたり、地区市民館に置かせてもらったりしました。少しでも地域への啓発と、介護予防につながればと思います。取り組んでおります。民生委員さんの定例

会参加も市内の感染状況を見ながら参加人数を一人にして参加したり、控えたりしています。市役所主催の各種会議は、全てではありませんが、Zoomを活用したりモーティング会を行なう場合もあります。ただ、困難事例や虐待事例では内容によって家族関係・自宅内の様子などかなり立ち入った情報を扱うことになりますので、従来のように会議室に集まり行なう方が、個人情報保護の観点から言えば本当は望ましいのですが。

現状でできる最善の方法で、感染症対策を行ないながら、相談者や地域のために貢献できるように誠心誠意取り組んでおります。

コロナに負けるな

麗楽荘居宅介護支援事業所主任 夏目 香里

子供のころから春は胸躍る希望に満ちた季節でした。麗楽荘玄関前の紅梅も可愛いらしい花が咲き始め、春の訪れが待ち遠しいこの頃。

しかし今年の春は世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており愛知県にも新年早々二度目の緊急事態宣言が発令され、いつになったら穏やかな日常を取り戻すことができるのでしょうか。

有事の際、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとして一番気を付けている事・ありきたりではないありますが「絶対に感染しない・感染源にならない

い」事です。「新しい生活様式」はもちろんすべて実践してありますが、私たちの仕事は高齢の方や体の不自由な方との関わりなくして成立しません。

耳が遠くマスク越しでは会話が成立しないこともしばしば。どうしても耳元で大きな声での会話が必要となります。認知症の方にマスクをお願いしても数分でポケットにしまったら、いつのものがかわからないマスクが出てきたりと、混乱した介護現場の中、奮闘しています。

また利用者様のご家族からはサービス利用時の

不安を吐露されました。

○認知症のおばあさんが感染しても利用できる施設はあるのか

○感染後はいつからサービス利用を受け入れてくれるのか

○家族の感染が確認されたら、おばあさんを見てくれる施設はあるのか

厚生労働省発表の退院基準は「発症日から10日間経過し、かつ症状軽快から72時間経過した場合退院可能」とあります。この指針だけの判断で退院後、受け入れ可能な施設を探すのは困難です。退院時のPCR検査は義務づけがなく、仮に検査しても再度陽性が出ることも珍しくないそうです。医学的には再陽性が出て

も感染性は極めて低く問題は無いようですが、現実には「陰性」の結果が出ないと受け入れる施設はなく課題は山積です。

ケアマネジャーとしてどんな時でも早急に対応でき、利用者様・ご家族様が安心してご自宅で過ごしていけるよう常に新しい情報をキャッチし、自分自身もコロナに負けない身体を作り、マスクの下はいつも「笑顔」で頑張ります。



もうすぐ春ですね

楽しい理科教室医療編

理科の勉強から医薬品を眺めてみる

老人保健施設ベルヴューハイツ 薬剤師 谷山 正 好

これで、五回目となり

ますが、タイトルを『薬学講座』から『楽しい理科教室医療編』と改称してもらいました。たまたま、私谷山は、中学高校の教員免許を持っていた。薬学博士でもないものが薬学何とかは、薬学者に失礼と思います。

さて、当施設には、医師で施設長の近藤先生がお見えになります。その近藤先生とちよくちよく雑談します。

近藤先生の不得意とおっしゃる化学への橋渡しが出来ればと、そこで、化学の家庭教師をさせてもらおうということで、先生から暗黙の了解を得ました。そこで、他のスタ

ッフにも声をかけて、週一回十五分間だけ時間を頂きました。

そんなこんなで、今年の十月からはじめてみることにしました。

昨年の十月、最初のテーマは、『医薬分業』としました。

医師と薬剤師は、法律では、「公衆衛生の向上と増進」が目的とされています。もちろん手段は異なります。

ところが、法律に書いてあることって、ほとんどの人が知りません。にもかかわらず、「薬のことは、医師、薬剤師に」と書かれています。

医師と薬剤師は、それぞれ三十万人くらいいる

のですが、期待に沿える回答は、何かは、時と場合により、全く異なってしまう。

そして、「医者が言っていたから」、「薬剤師が言っていたから」と言われると次の言葉は、どうしようか迷ってしまいます。

そこで、今回、医師は、生物、薬剤師は、化学として説明を試みてみました。十一月は、『消毒剤の化学』として準備しました。

万能な化学薬品は、現時点で絶対でない、本当はあるかも知れませんが、過度な期待は、後々危険を伴います。それは、歴史的な薬害（スモン、サリドマイド、薬害エイズ、イレツサ等々）が存在していることからわかります。

まずは、消毒でどのような毒を消すのかは、生物の話になります。

次に、消毒剤という化学薬品は、水に溶けやすいものが使いやすい、ということになります。

科学的性質からみた生体に対する危険について話をしました。

その一つは、強い酸性や強いアルカリ性ではないこと、また、気化をして吸入すると生死にかかわることになりかねないことなどです。

まとめは、ネットで見て気になった表現を用いて、塩素消毒は、効果が高いが、危険である。アルコール消毒は、効果が低い。安全。としてみました。誤解がないように、化学薬品は、説明書や容器の本体に成分、使用上の注意が書かれています。それを必ずご自身で読むこと、読んでもらうことがとても重要です。

職員紹介

新入職員
インタビュー

令和2年12月から
令和3年1月に入社
しました3名の新入
職員にインタビュー
を実施しました。
皆さん、各職場で
一生懸命頑張ってい
ますので、宜しくお
願います。



特別養護老人ホーム作楽荘

高松 須美子



職 種：看護師

趣 味：音楽を聴きながらドライブすること。

自身の長所：優しい所と粘り強い所。

働いた感想：職員の皆さん優しいです。

今後の目標：1つ1つの業務を確実に覚えて
いきたいです。

一 言：「初心忘るべからず」で頑張ります！

デイサービスセンター作楽荘

小寺 貴美代

職 種：看護師

趣 味：ゴルフ、テニス、料理、ソーイングetc.

働いた感想：ずっと主婦一筋でしたが、今回
作楽荘で仕事をする機会を得る
事ができました。今は覚える事
で精一杯です。

今後の目標：アルコールを控える！



特別養護老人ホーム作楽荘

篠原 京子



職 種：介護士

趣 味：ドライブ

自身の長所：明朗

働いた感想：とても働きやすい職場です。

今後の目標：入所者の方とコミュニケーション
を取りながら仕事をしたいです。



特技披露

コロナ禍で見つけた楽しみ

特別養護老人ホーム斯楽荘 介護士 菅原 亜莉沙

二〇二一年になり、早々と二カ月が過ぎました。歳を重ねるごとに、時が経つのは早いと言う意味が分かってきた気がします。

新型コロナウイルス（以下「コロナ」とする）の感染が拡がる中、仕事でもプライベートでもコロナに脅える日々。でも、やっぱり楽しい事がしたい！と秘かに始めていた某有名サイトでの私の特技。いや、特技とまではいきませんが趣味に近いことです。

コロナの影響で外に遊びに行きたくても行く事が出来ません。友人と会う事も、会う機会さえも

無くなった中、SNSという形で会えない友人や、全く会ったことの無いSNS上だけの関わりが出来ました。そんなコロナ禍でのステイホームの楽しみが料理でした。昔から食育すること！飲むこと！寝ること！が好きだった私は自粛期間中に家でも何か楽しめないかと考えていました。そこで思いついたのが、SNSに料理動画を投稿することでした。もちろん（ハッシュタグ）#おうち時間#コロナに負けるな！を付けて。休日のおうち時間の秘かな楽しみになっていきました。初めは一つの料理を完成させるのに何時

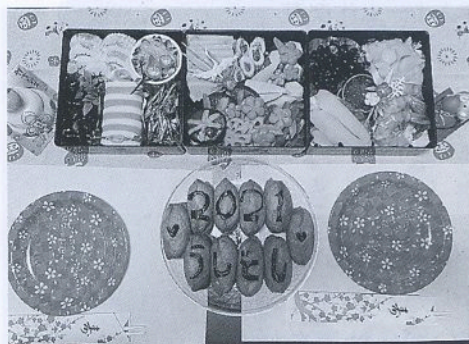


今年の節分は2月2日

間も費やし、作り終えた後の台所の片付け、動画編集。「慣れない事はやるな」その言葉がお似合いな現実でした。ですが今の世の中、機械音痴の私にも簡単に編集作業ができるサイトに巡り会いました。

投稿回数を重ねるごとに、料理の幅も増えて楽しいおうち時間を過ごす事が出来ました。作った物を食べる楽しさだけでなく共有できる楽しさもありました。なんと行って

もコロナ禍でも会えない友人達とのコミュニケーションツールができたことで、おうち時間を楽しく過ごす事が出来ています。自己満足の世界ですが、SNSに投稿した料理動画に『コメント』や『いいね!』をもらえる数が増えれば増えるほど喜びに繋がります。コロナに負けず、おうち時間を私なりの方法でもう少し楽しみたいと思います。



2021年おせち

施設だより

作楽荘

〇関わりを大切に

看護師 竹本 恵

作楽荘医務室では毎日、本館と新館に分かれて足浴を実施しています。このことで入所者様と関わる時間が増えました。

足浴を行うことで、清潔保持・血行促進・リラックス効果及び足の観察はもちろんの事、スキンスリップを通じて全身状態や精神状態の変化に気付くことができます。

例えば、小さな傷を見つけた場合には、易感染症の既往歴も踏まえ、受診の必要性の判断をしていきます。また、表情や顔色・声のトーン・会話

の内容でも健康状態や精神面の変化を把握することができ、本人の不安を取り除く事へとつながり、信頼関係も深まります。そのことによりケアが充実したものとなります。



足浴で観察力を磨く！

足浴を通じて得た情報は、職員間で共有していきます。日常の看護や介護に活かすことで、入所者の方々が少しでも快適で穏和な毎日を送っていただけるよう、今後も日々努力していきます。

〇コロナ禍での生活

入所者 深谷 祐次

私が作楽荘に来て三年半が経ちました。当初は職員さんの手を借りる事もありましたが、不自由なく過ごしていました。ところが一昨年の十二月、新型コロナウイルスが世界中に拡まってきました。世界中の方々の生活が一変し、施設にいる私の生活も変わりました。テレビや新聞で見るのは新型コロナウイルスの事ばかりで、私はこれまで職員さんと共に病院受診や買い物に行っていました。それができなくなりました。また家族や友人とも面会ができなくなりとても寂しいです。

このご時世、色々な事が制限され、行動範囲も狭くなりました。新型コロナウイルスの終息が見えないのも現実です。もっと早く、政府が外出禁止や業者には補償金を出していれば新型コロナウイルスが拡がらなかったと思います。今後もこの感染症に対する情報を得て、しっかり予防できる事は行い、コロナ禍の新しい生活に向き合っていきたいと思っています。



機能訓練、頑張っています！

美光ハイム

○健康についての講演会

事務員 佐々木温美

今年も滝川一亮理事長を講師にお招きし、『健康について』をテーマに講演していただきました。

内容は新型コロナウイルス・認知症の予防・ロコモティブシンドローム（通称ロコモ）についての講義でした。

例年ですとデイサービスを利用していらっしゃる方々や他部所の職員にも参加いただいていたのですが、今年はコロナ感染予防の為、美光ハイムの入居者様とその職員のみ参加となりました。皆さん真剣に耳を傾けており、特に新型コロナウイルス対策については手洗い・う

がい・マスク着用、普段出来る事を丁寧に行えば感染対策のリスクを大幅に抑えることができるという話に一樣に頷いていました。



大変勉強になりました

昨年はコロナ感染拡大により外出する機会がグッと減ってしまいました。私も昨年11月に育児休暇から仕事復帰したばかりで運動不足を露呈。今回学んだロコモ対策運動を入居者様といっしょに行っていきたいと思います。

倶楽荘

○1月誕生日会

介護士 宮本あかり

昨年からの新型コロナウイルスの猛威により、外出や荘内でのイベント実施がなかなかできない状況ですが、せめてユニット内で楽しめる事をと、『1月誕生日会』を計画し、ソーシャルディスタンスを保ちながら、入居者の皆さんと一緒に会を進行しました。

入居者の皆さんにリビングへ来ていただき、間隔を開け、テーブルを囲んで着席。1月の誕生日者の発表と、其々挨拶をしていただきました。

自分の名前を呼ばれると、「そういえば誕生日だったやあ」「祝っても

らえてうれしい」とご満悦。職員が選んだプレゼントを誕生日者にお渡し、お祝いの言葉を述べるとさらに顔を綻ばせて喜ばれていました。

バスデーケーキを切り分けて提供すると、「美味しい」と舌鼓を打ち、お替りをする人もいました。誕生日会は大成功、皆さん大変喜んでいただきましたようです。

まだまだ気が抜けない日々は続きますが、入居者様が気分転換できるよう、これからもイベントを行っていききたいです。



プレゼント最高！

GHくらら

○園芸クラブ

介護士主任 湯浅 順一

園芸クラブを発足してはや一年が経過。年間を通して園芸活動が出来るか心配でしたが、入居者の皆さんと一緒に話し合いながら季節ごとに色々植える事が出来ました。じゃがいも、サツマイモ、ひまわり、オクラ、青じそ、ブロッコリー、朝顔、チューリップと沢山植えました。一番最初に植えたじゃがいもはあまり収穫が出来ず、皆さん残念がっていました。その次に植えたサツマイモは収穫後に焼き芋大会を企画していたため、大収穫を望んでいましたが、これまた残念ながら少し



早く大きくなあれ！

の収穫となつてしまいました。そのためサツマイモを買い足して実施しました。すべて自前とはいきませんでした。薪で焼いたお芋は味が濃厚で、皆さん喜んで食べて下さいました。最後に植えたチューリップはもうすぐ綺麗に咲くことをみんな楽しんでしています。来年度の芋掘りにはご家族に参加してもらおう等、魅力ある園芸クラブにしていきたいと思っています。

斯楽荘

○楽しみみつけ！

相談員副主任 榎原 隆誌

まる一年以上私たちの生活に不穏な影を落とし続けている新型コロナウィルスですが、日常生活に戻るまでの道のりはまだまだ長そうです。入居者の皆さんとご家族が安心して楽しんでいただく方法は：なかなか難しい課題です。

行事担当を中心に悩んだ末、まずは屋内行事を充実することになりました。入居者のリクエストで実施した冬の鰻丼はとても好評で楽しみの一つになりました。

ご家族との繋がり方も変化が必要になりました。LINEアプリを使用し



冬の鰻は脂がのっています

たTV面会を開始し、遠方の親類の方にとつては気軽に顔を見ることができると喜ばれました。大変な時だからこそ見つける楽しみもあります。せっかくなら少しでも楽しみながらこの困難を乗り切りたいと考えています。とはいえお出掛けができないのは寂しいことです。落ち着いたら一杯皆さんで楽しんで頂けるよう今からしっかり準備をしていきます。

ベルヴューハイッ

○愛しの「たっちゃん」

介護士 藤城 那保

作楽荘の愛犬「辰五郎」

が我が家に来て約一年半。家族からは「たっちゃん」とか「たつ」と呼ばれています。



まだまだ元気！

来たばかりの時は、お留守番もできず、私と一緒に職場へ行き、みんなにお世話してもらいました。私の足音や寝返りにもとても敏感で、昼夜問わず吠えていました。そんな「たっちゃん」

も、今ではとても穏やかに過ごせるようになりました。吠えることもほとんどなく、お布団に人間のように入って眠っています。先住の犬さんとも一緒に散歩したり、子供たちと飛び跳ねたりしています。

今年の正月、無事に十歳になりました。彼も歳には勝てず少し疲れやすくなったなあと感じています。

暖かくなってきたので散歩などで一緒に楽しみたいですね。



散歩が大好き

ベルヴューハイッ

○いつでも前向きに

利用者 彦坂 彰男

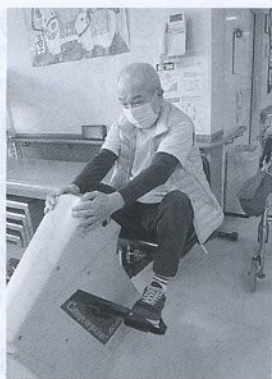
ベルヴューハイッデイケアを利用して、はや十一年を迎えようとしています。利用当初は、杖を

ついて施設内を利用者の中で一・二位を争うほどに活発に歩き回っていました。日課ではボランテニアの方の支援や幼稚園児の慰問、また職員によるバスレクなどで、楽しい毎日をごさせて頂き大変感激していました。

それから数年後、家で気を失い倒れ、尾てい骨にひびが入り、市民病院に入院しました。退院後は自力で歩けなくなると歩行器を使用すること

なりました。今も杖で活発に歩きたい気持ちは十分にありますが体力のなさを痛感しています。買

い物の回数も以前より減少し、今年に入ってから、ほとんど車で連れていってもらっています。これから春本番、暖かくなるので、散歩の距離を少しずつ伸ばし、筋肉を付けていきたいと思っています。去年からのコロナ感染拡大で不要不急の外出が自粛となり、大変でしたが負けずに頑張りたいと思います。



リハビリ頑張っています

○DSC吉かわ

○お風呂の楽しみ

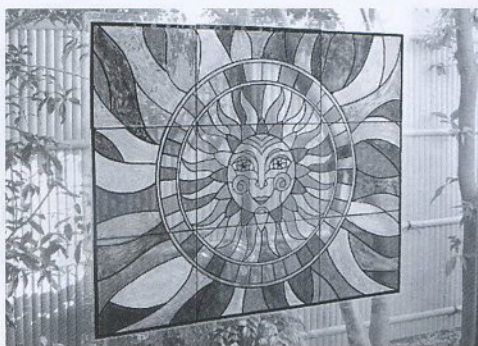
介護士主任 滝川 一善

機関誌「作楽」第226号

の表紙を飾った吉かわの手作りステンドグラス。ご利用の皆様からも好評を博してりましたが、他ならぬ私自身が大のお気に入り、グレードアップしたものを！とスタッフに強権発動。しかも、ご利用者との共同製作を条件としたことから、スタッフにとっては思案の日々。追って複数の提案があり、お風呂を温泉だけでなく、より楽しんでもらいたいという気持ちを含め、また、日光を浴びることは健康にも良いことから「やさしく微笑む？お日様」をご利用

者・スタッフ協同でステンドグラスに仕立てました。

前回のステンドグラスの三倍ほどで、入浴時には一目瞭然のビッグサイズ。カラフルに彩られたお日様に迎えられて入るお風呂にご利用の皆様も笑顔萬歳。モノクロ画像なのが残念ですが、現物をご覧になりたい方はぜひ、DSC吉かわへお越しください。



にこやかに健康祈願

○麗楽荘

○ステイホーム

介護士 原田 千代子

昨年の9月にグループ

ホームうらから特養の麗楽荘へ異動となり、初めての年越しを迎えました。長引くコロナ禍で何かと行事が中止になったり縮小されたりする中、入所者の気持ちを盛り上げようとする職員の姿が印象的でその姿勢を学んでいこうと思いました。

漢字1文字の習字、お汁粉やゴマ団子・門松や花もち・お花紙を丸めた千支の壁飾り作りなど、どれも入所者様が笑顔で楽しそうに作っておられました。

コロナの収束はまだまだ見えてきませんが、悲



観的にならず今できることを見つけ、皆さんにとって楽しい1年を過ごしていただけるようお手伝いさせていただきます。と思います。

雨にも風にもコロナにも負けず笑顔で頑張りましょう

デイサービス麗楽荘

○鬼面づくり

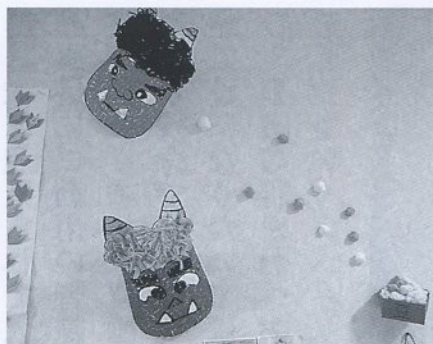
介護士 峯野 愛香

例年、節分は2月3日ですが今年の節分は124年ぶりに2月2日です。

デイサービスセンター麗楽荘では節分の行事として、鬼のお面を利用者の皆さんと一緒に作り、殺風景な壁に赤鬼と青鬼のお面を飾りました。

赤鬼と青鬼のお面は、利用者の皆さんがちぎり絵で作り、毛糸を髪の毛に見立てると鬼のお面が出来上がり。「何色を貼るの」「どんな鬼になるか楽しみだや」と皆さんの想像が膨らみ、出来栄えのハードルが上がってしまいました。出来上がった作品を見て、「あん

まり怖くない鬼だね」「いい感じに鬼が出来たね」と様々な反響があり、沢山の笑顔が見られました。柗と鯛の頭も色画用紙と折り紙で作った節分らしさを演出しました。



鬼ブームにあやかり

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大声で「鬼は外！福は内！」と言って豆をまくことは出来ませんでした。が、大きな福が訪れますように祈っています。

和光ハイム

○マダガスカルとドラえもん

入居者 大木 勇夫

マダガスカルに二十五日間程旅行した時に現地のフランス語のガイドさんと仲良くなった。彼は現地で日本語の先生をしていると話してくれた。

僕の大好きなアニメの話をしようにとガイドさんに「ドラえもんを知っているか？」と聞くと「ドラえもんを知らないのは地球人ではないですよ」と驚きの返事がきて、ドラえもんの話で盛り上がった。

日本に帰国し色々とお世話になった感謝の気持ちを込めてガイドさんに今迄買い集めた四十六巻の日本語のドラえもんの本を全部送った。送料二

万弱はちよつと意外で痛かったが乗りかけた船、航空便で送った。

後日、ガイドさんから大変喜んだお礼の手紙がきた。それも全て日本語で！いい思い出がまた出来た。

僕は読書が好きで色々な本を今迄に読破してきたが、日本で最高の、世界に誇るべき文学は万葉集とドラえもんだと思っている。



バオバブ通りにて1枚！

GHうらら

○クリスマスの思い出

介護士 滝川 和良

昨年の12月14日に忘年会とクリスマス会を行いました。入居者の皆さんは昼食にお弁当やハンバーガーを提供、また職員による出し物としてビンゴゲームを行い、そしておやつにケーキを食べて頂くと、盛沢山の内容を一日に詰め込みました。その中でも印象に残っているのは、自分自身が関わった催し物でした。クリスマス装飾のついたサングラスをかけ、長髪のカツラをかぶり、入居者の皆さんの前で歌を披露したことです。若い頃によく聴いた曲を何曲か熱唱させて頂きました。

始めは恥ずかしさもありましたが、周りの職員に盛り上げてもらえたおかげで気分が乗り、入居者様と一緒に写真を撮ったり握手をしたりして、皆さんにもとても喜んで頂けた様で沢山の笑顔が見られました。



大変盛り上がりしました

コロナ禍でも、入居者の皆さんに楽しい思い出をお届けすることが出来た昨年、2021年も楽しみをいっぱい届けられるよう奮闘します。

奇楽荘

○コロナ禍の初詣

介護士副主任 小林 真紀

新型コロナウイルスが国内で感染し始め、一年が経ちました。初めは感染を恐れ、行事や外出を中止にしたり、縮小していました。現在は新しい生活様式に配慮しながら、楽しんでいただけるようないろいろと模索中です。

今年の初詣は、市街の富永神社へお参りすることにしました。それでも信心深い入居者の方は、「今年に行けるかどうか、気いもんでた。連れてってくれるんならありがた」と大変喜ばれていました。

賑やかな三が日を避け、5日・6日・8日と

3日間3班に分かれ出かけました。

幸い神社には参拝者は一人もいませんでした。しかし、感染予防のため車からは降りられません。皆さんと車中で手を合わせながら各々願掛けをしていました。そして私が代表して皆さんのお賽銭を投げ入れ、手を合わせました。「コロナが早く収束しますように」「入居者の皆さんがいつまでも健康でいられますように」と…。

帰荘してからも、「よかったやあ」「来年も行かまい!」と喜んでくださいました。これから感染に注意しながら、いろいろと楽しんでいただけるように工夫していきます。

GHきらら

〇防災意識を高く持つこと

介護士 横井 佑二

近年の気候変動による大雨の頻度増加や頻発化した台風の直撃等々、去年7月に熊本県を襲った集中豪雨は記憶に新しいと思います。

当施設から200m離れた場所に位置する豊川水系の宇利川は新城市洪水ハザードマップを確認しても氾濫の危険性が無い地域ですが、絶対に起こらないという思い込みを捨て、万が一に備える為『垂直避難』の訓練を計画実施致しました。

入居者様の中には「洪水なんて起こるわけがない」と言われる方もいらっしゃいました。



反復訓練が大切

いざ階段を登ってみると「急だなあ、久しぶりの階段はえらいわ」と入居者様にはかなり急な階段であり、隣に付き添って登ろうにも横幅が狭く、並んで登っていくのは難しい事がわかりました。今回の訓練を通して、予定していた避難方法ではスムーズな避難が困難、新たな対策を考える必要があるとわかった事は非常に大きな収穫であったと思います。

本部 日誌

令和3年1月

13日 本部会議(web会議)

令和3年2月

10日 本部会議(web会議)

作楽荘 日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇

7日 七草粥

8日 福岡地区民生委員定例会(大塚副主任 於福岡地区市民館)

11日 鏡開き

給食会議

13日 事故防止委員会施設内研修

15日 寿司祭り

19日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任 於大清水センター)

26日 職種別会議(社会福祉士)(大塚副主任 於豊橋市役所)

愛知クリニック運営推進会議(白井主任 於愛知クリニック)

27日 身体拘束廃止委員会施設内研修

28日 連絡会議

30日 誕生日会

令和3年2月

1日 包括業務打ち合わせ会(白井主任・渡邊副主任リポート会議)

2日 節分・豆まき

8日 給食会議

9日 広域ケア会議(白井主任 於大清水セ

ンター)

16日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任 於大清水センター)

職種別会議(社会福祉士)(大塚副主任 於豊橋市役所)

17日 職種別会議(保健師)(鈴木 於大清水センター)

18日 寿司祭り

24日 誕生日会

25日 連絡会議

26日 作楽荘・美光ハイム合同防災訓練

地域包括支援センター運営協議会(白井主任リポート会議)

25日 連絡会議

26日 作楽荘・美光ハイム合同防災訓練

1日 お屠蘇・雑煮会

3日 カラオケ練習会(10・12・17・24・26・31日)

7日 茶道クラブ

9日 映画鑑賞会

12日 カラオケクラブ(26日)

13日 書道クラブ

14日 筋力低下予防体操

15日 美光教室

19日 健康体操クラブ

21日 華道クラブ

健康チェック

令和3年2月

2日 節分

4日 茶道クラブ

美光教室

美光ハイム 日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇・雑煮会

3日 カラオケ練習会(10・12・17・24・26・31日)

7日 茶道クラブ

9日 映画鑑賞会

12日 カラオケクラブ(26日)

13日 書道クラブ

14日 筋力低下予防体操

15日 美光教室

19日 健康体操クラブ

21日 華道クラブ

健康チェック

令和3年2月

2日 節分

4日 茶道クラブ

美光教室

7日 カラオケ練習会(9:14・21・23・28日)
9日 カラオケクラブ(23日)
10日 講演会「健康について」(講師 滝川一 亮 理事長)

書道クラブ

12日 鍋会
16日 健康体操クラブ
18日 華道クラブ

倶楽荘日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇提供(全ユニット)
16日 イベントランチ(Aユニット)
20日 誕生日会(A・Bユニット)
22日 地域密着型特養オンライン情報交換 会

24日 イベントランチ(Cユニット)
27日 誕生日会(Cユニット)
連絡会議

30日 イベントランチ(Bユニット)
31日 誕生日会(Bユニット)

令和3年2月

2日 節分(恵方巻き提供)
24日 連絡会議
25日 誕生日会(Aユニット)
27日 イベントランチ(Cユニット)

GHIHUSU日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇提供(A・Bユニット)
2日 誕生日会(Bユニット)
21日 愛知県認知症GH連絡協議会東三河

ブロック会議(ウエブ会議、野澤副主 任)

27日 倶楽荘連絡会議

令和3年2月

1日 誕生日会(Bユニット)
3日 節分(豆まき・恵方巻き提供)
24日 倶楽荘連絡会議

愛知県認知症GH連絡協議会ウエブ研 修(湯浅主任)

斯楽荘日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇
11日 鏡開き
15日 イベントランチ(うなぎ)
18日 連絡会議
21日 A・Bユニット誕生日会
22日 ユニット型特養オンライン情報交換 会

26日 イベントランチ(寿司)
28日 連絡会議(於 作業荘)
29日 Cユニット誕生日会

令和3年2月

2日 節分
5日 事故防止勉強会
8日 ユニットリーダーミーティング、連絡 会議

BCPシミュレーション

18日 避難訓練
20日 Cユニット誕生日会
21日 Aユニット誕生日会
25日 連絡会議(於 作業荘)

ベルヴューハイツ日誌

令和3年1月

1日 お屠蘇
5日 デイケア新年会(鍋料理)
12日 入所者新年会(鍋料理)

職種別会議(堀内主任リモート会議)
14日 ケアマネ研修会(堀内主任リモート会議)
17日 誕生日会(3F)
18日 デイサービス・デイケア第2回合同会 議(於 B・V・H会議室)

19日 連絡会議
21日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田リモ ート会議)
24日 誕生日会(2F)
25日 温泉フェスタ(30日)

26日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼 於 豊 橋市役所)
28日 給食会議

令和3年2月

3日 豆まき(デイケア・入所)
4日 防災訓練
9日 職種別会議(堀内主任リモート会議)
16日 連絡会議

職種別会議(社会福祉士)(菅沼 於 豊 橋市役所)
17日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田リモ ート会議)

18日 ケアマネ研修会(堀内主任リモート会議)
21日 誕生日会(3F)
22日 温泉フェスタ(27日)

25日 給食会議

26日 広域ケア会議(堀内主任 於 あいトピア)
28日 誕生日会(2F)

DSC吉かわ日誌

令和3年1月

4日 書初め

季節の花週間(松湯)

9日 餅つき

15日 マッサージサービス

18日 デイサービス・デイケア第2回合同会 議(於 B・V・H会議室)

22日 習字教室(講師 佐藤征子 講師)

23日 ミーティング

28日 マッサージサービス

令和3年2月

3日 豆まき祭

9日 マッサージサービス

12日 バレンタイン週間

15日 季節の花週間

24日 マッサージサービス

27日 習字教室(講師 佐藤征子 講師)

ミーティング

麗楽荘日誌

令和 3 年 1 月

1 日 元旦お屠蘇会

9 日 寿司祭り

11 日 鏡開き

12 日 給食会議

13 日 書道クラブ(加藤美代子講師)

14 日 第 3 回認知症介護実践者研修(相山副

庄長 於 第一富士ビル 2 階)

22 日 連絡会議・入所判定会議

誕生日献立

令和 3 年 2 月

2 日 節分・豆まき

8 日 寿司祭り

9 日 給食会議

新城市介護認定審査会(夏目主任)

19 日 連絡会議・入所判定会議

22 日 誕生日会

23 日 介護業界で働く人のためのメンタルヘ

ルスセミナー(柳川主任・守田主任・権

田 於 新城市地域文化広場)

25 日 新城市介護認定審査会(夏目主任)

職員募集中

◆介護士・看護師(豊橋・新城)

◆正職員およびパート職員

友人・知人紹介大歓迎です!

本部事務局 ☎(0531)485115

和光ハイム日誌

令和 3 年 1 月

1 日 お屠蘇会

初詣(矢部八幡神社)

4 日 和の会

9 日 お楽しみ会

寿司祭り

12 日 給食会議

22 日 連絡会議

誕生日献立

25 日 新年会

令和 3 年 2 月

1 日 和の会

2 日 節分会

8 日 寿司祭り

9 日 給食会議

17 日 講演会「健康について」(講師 滝川一

理事長)

22 日 誕生日会

26 日 連絡会議

GHひらひら日誌

令和 3 年 1 月

1 日 お屠蘇会

正月行事(3 日)

初詣(7 日)

7 日 七草粥

25 日 誕生日会

令和 3 年 2 月

3 日 節分会

22 日 誕生日会

奇楽荘日誌

令和 3 年 1 月

5 日 初詣(富水神社)(6・8 日)

6 日 ばんやさん訪問販売

8 日 J 笑門訪問販売(毎週土曜日)

29 日 誕生日会

令和 3 年 2 月

2 日 節分祭

5 日 J 笑門訪問販売(毎週土曜日)

18 日 誕生日会

GHきりひら日誌

令和 3 年 1 月

1 日 お屠蘇

3 日 書初め

5 日 訪問診療(宇利)

7 日 訪問診療(宇利)

14 日 初詣ドライブ(車内から)

令和 3 年 2 月

2 日 節分

訪問診療(宇利)

4 日 訪問診療(宇利)

28 日 俺ん家食堂

編集後記

先月から新型コロナウイルス

イルスワクチンの接種が

医療従事者から先行して

始まっています。4 月か

らは高齢者、その後は基

礎疾患のある人や高齢者

施設職員など順次調整が

進んでいます。有効性

は? 安全性は? などとい

った声も聞こえてきます

が、とにかく収束に向け

た切り札として期待が高

まります。ただかつての

平穏な生活に戻るには年

単位の時間がかかる見解

との専門家の意見です。

対策の緩みは再流行に

も繋がりがねず、施設と

しても過信は禁物ですが、

暗い闇の先に一筋の光が

見えた気がします。あと

少し、もう少し。(H・K)

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・奇楽荘グループ・GHグループ



作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・奇楽荘グループ・GHグループ

施設概要・ブログ等を公開